

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	ボランティアサザンクロスジャパン協会
活動タイトル	マダガスカル南部乾生林保全と住民への指導
活動地域	マダガスカル南部ラヌマインティ地域



2023/5/21 ラヌマインティ住民とトゥラナロ



2023/8/20 ラヌマインティ住民が保存していた固有植物パキポディウムの種子

【活動の目的・目標】

南部乾生林のラヌマインティ地域から作られる炭、建材は60km離れているトゥラナロで利用されている。持続的な乾生林の保全には消費地であるトゥラナロでの住民啓発も必要性がある。トゥラナロ住民に当協会が行っている活動を通して体験的に乾生林の状況、保全の必要性の理解を得ていきたい。

【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

今回は将来的にトゥラナロの若年層への啓発活動につながるよう、学校関係者に行うこととした。各学校機関の関係者に当協会の活動を紹介し、ラヌマインティ地域現地での体験会を提案。エコツーリズムを主として教育を行う旅行環境専門学校（高校生以上の年齢層）の関係者から参加を得られた。

【活動の内容・成果】

開催回数：
参加人数： 述べ60名
達成率： 40%

4月20日トゥラナロ森林官局に本年度の事業を説明、協力を要請
5月トゥラナロの各学校関係者への協会の活動の紹介と保全活動参加などを話行つた。
旅行環境専門学校の関係者から参加を参加の打診を受ける。21日にラヌマインティ地域で観察会を行い、トゥラナロ側の苗場での固有植物の苗作りも見てもらった。以降9月までに観察会を3回がおこなわれた。
乾燥地のラヌマインティ側苗場に比べ湿潤地のトゥラナロ側の苗場では安定して苗を作ることができ、1名の専属従事者を中心に周年管理を行っているため、断続的に旅行環境専門学校の関係者が苗作りに参加している。

【団体概要】

世界的に貴重なマダガスカル南部乾生林は、人口増加による伐採などにより深刻な減少の状況にある。1991年協会設立。減少する乾生林を地域住民の手によって保全し、自然と人との共存を目指し、同年活動を地域住民と共に開始。2020年までに乾燥地の乾生林650haを対象に25万本以上の固有植物の植栽を行ってきた。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



2023年6月17日

調布市環境フェスタに参加

南部乾生林の固有植物のミニ展示と当協会の活動、助成による活動の紹介を行った
調布市市長も立ち寄られ、興味深くご覧になられていた。



2023年7月8日

一般財団法人港区国際交流協会と在日マダガスカル大使館共催によるマダガスカルデーに参加。南部乾生林の固有植物のミニ展示と当協会の活動、助成による活動の紹介を行った
マダガスカル代理大使より活動について、理解と推進をされるコメントをいただいた。